

ナンバリング	A①02	科目名	メディア・コミュニケーション
担当形態	単独	担当教員	梅澤 俊秀
ディプロマポリシーとの関連性	①, ②, ③		
テキスト	授業中に必要な書籍を紹介します。		
開講時期	前期	単位数・ 授業形態	2単位・講義
到達目標	この授業では以前から求められたパソコンの操作や Office ソフトの習得を最初の到達点とし、同時に保育現場で必要とされるデジタルスキルの習得を最終的な到達目標としています。		
授業の概要	各自が持参するコンピュータ(WindowsPC や MacBook、iPad 等のデバイス)の操作の基本を習得した後、ビジネスアプリの基本操作や生成 AI の活用などを体験していきます。その後、保育 ICT の活用についてコードモン [®] 体験版を使いながら学習を行います。この中では「保育 ICT 検定試験」(無料)への受験も計画しています。できるかぎり ICT 化が進む保育の世界に対応できるような授業を展開していきます。		
授業計画	1: ガイダンス: 情報リテラシー、情報機器(パソコンやタブレット等のデバイス)の基本操作、ショートカットキーの使い方 2: 保育者自身の SNS リテラシー、アナログとデジタルの違いについて考察する 3: ビジネスアプリの基本(メールの送受信、文書作成アプリの操作) 4: 表計算①: 表計算アプリの基本操作(名簿管理 ~並べ替えと抽出の基本~) 5: 表計算②: 表計算アプリの操作(シフト表 ~関数の基本と条件付き書式~) 6: 保育 ICT 体験型授業①(コードモン [®] を使った保育 ICT 体験)保育 ICT の現況や国が示している保育 ICT の方針 7: 保育 ICT 体験型授業②(コードモン [®] を使った保育 ICT 体験)保育 ICT で保育がどう変わっていくか、具体的なコードモン [®] の操作) 8: 保育 ICT 検定試験受験(無料)(講義+オンライン受験)+デジタルドキュメンテーションの作成と保護者との共有について 9: 生成 AI の活用(どう活用するか、何ができるのか、生成 AI リテラシー、活用の具体化と注意点) 10: 生成 AI 実際に使ってみる(園だよりの作成、行事のイラスト作成) 11: 著作権について(著作権とは何か、著作物の注意点、生成 AI 時代の著作権) 12: デザインの重要性(ピクトグラムを作成を通して多様性を理解する) 13: プレゼンテーションアプリの基本(テーマ: 理想の保育園)		

	14:プレゼンテーションの作成(理想の保育園についてプレゼンを作成) 15:プレゼンテーションの発表+ここまでの授業の Web テスト(学習のまとめ)				
準備学習と必要時間	授業の内容をできるだけ4~5日前に告知する(Google Classroom やドライブにて授業資料を共有する)ので、授業までに1時間程度の予習をする必要があります。授業中に課題が終わらなかった場合については、授業後3日以内に課題の提出をするようにして下さい。				
評価方法	授業中の課題(成果物)50%、最後の授業時間内に行う Web テスト 40%。保育 ICT 検定試験合格=10 点。				
参考文献	授業中に適宜指示します。				
特記事項	授業では各自持参するパソコン(その他のデバイス)が必ず必要です。忘れずに持参して下さい。充電も自宅で行って来て下さい。なお、スマートフォンで授業に参加する事は認められません。また各自が使用するデバイスの基本的な操作(キー操作等)については各自の責任において習得しておいて下さい。				
課題へのフィードバック方法	成果物の提出は基本的に Web にて行います。よって返却も Web から返却します。返却する課題へのコメントはできるだけ個別に返しますが、場合によっては全体を総括する形でコメントを返す事があります。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業		幼稚園教諭免許状	必修	第 66 条の 6 に定める科目
	その他		保育士資格	必修	教養科目
教員の実務経験					